



DXPの「どうするDX」《概要版》

製造業（家具・玩具・印刷・その他） デジタル・生成AI変革レ ポート

株式会社DXパートナーズ（DXP）による「どうするDX」月次レポート **DAY28**。家具・玩具・印刷・その他小規模製造業を対象に、デジタル技術と生成AIが現在・未来のビジネスをいかに「ルールチェンジ」するかを分析・予測します。

株式会社DXパートナーズ

2026年4月28日

エグゼクティブサマリー

本レポートは、アナログを前提とした「自然吸気型」経営から脱却し、デジタルを前提とした「ツインターボ型」成長エンジンを実装するための戦略的指針を提示します。4つの調査軸で構成されています。

1

影響調査

生成AIによる設計・提案・顧客体験の変革事例

2

技術調査

AIエージェント・フィジカルAI・Drawing Agentの最新動向

3

ロールモデル分析

Kartell・アダル・セガ フェイブの成功モデル

4

将来予測

2026～2030年のリソース・プロセス・ビジネスモデル変革

影響調査：デジタル・生成AIが業界に与える変革の現在地

置換 | Kartell (家具)

生成AIがデザイナーの役割を「描画」から「プロンプト入力」へ置換。数万通りの計算を数秒で実行し、人間では到達不可能な一体成型デザインを実現。

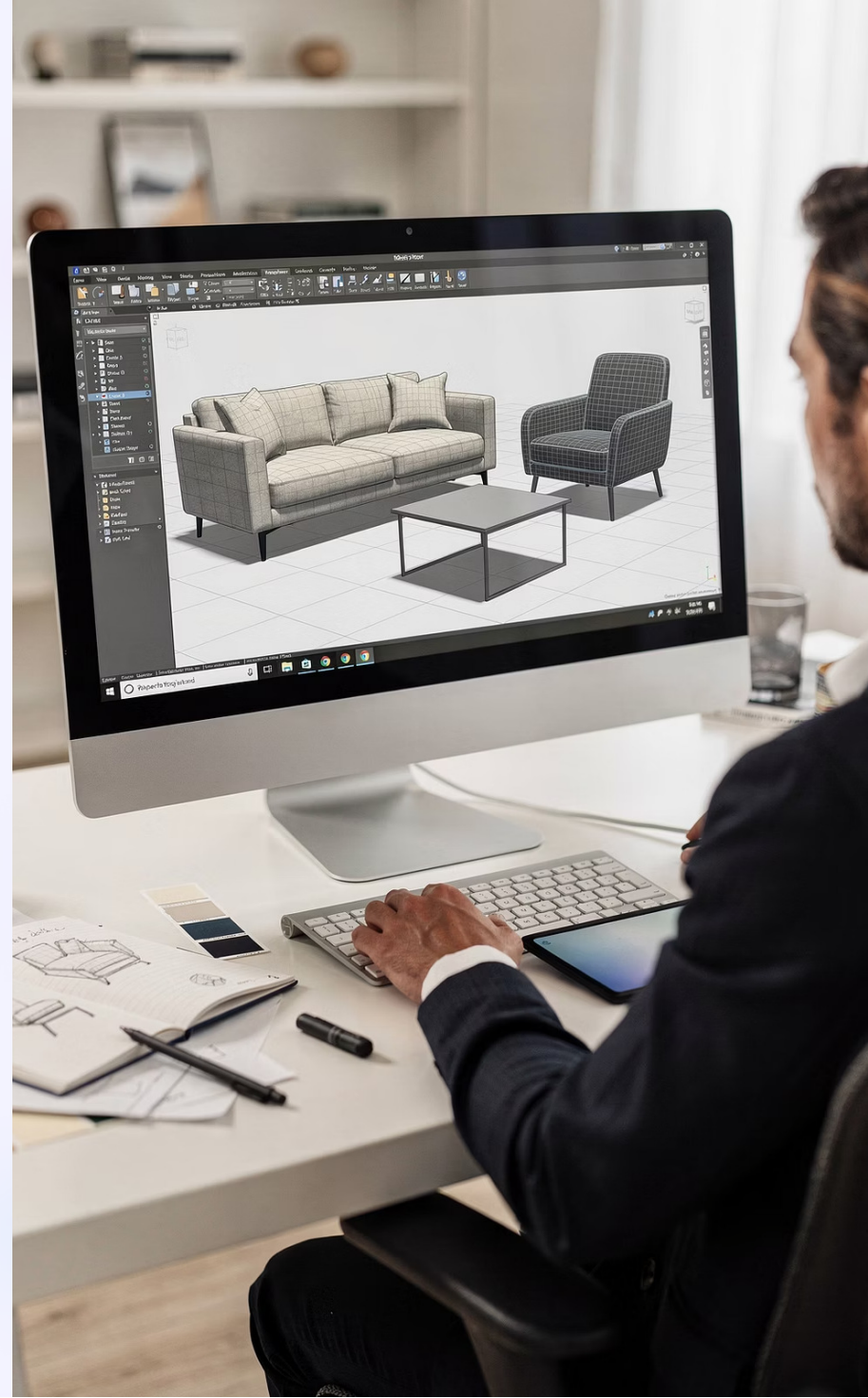
活用 | アダル「カグボン」

非デザイナーの営業員がテキスト・画像から数分で3D家具データを生成・提案。提案リードタイムを数日→数時間に短縮し、成約率を飛躍的に向上。

ルールチェンジ | セガ フェイブ

画像生成AIでデザイン案を従来比100倍に増強。アンケート分析をAI自動化し集計業務の80%を効率化。顧客の声を即座に製品へ反映する高速フィードバックループを確立。

① 印刷業界でも、デジタル印刷市場は2024年の14億米ドルから2025年に15億米ドルへ拡大。AIによるカラーマネジメントが熟練技術を代替しています。



技術調査：2026年4月時点の最新AI技術動向



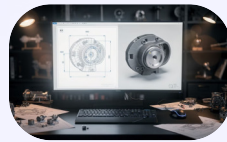
AIエージェント

目標を与えるだけでタスクを自律分解・実行。BOM照合・仕様逸脱検知などホワイトカラー業務を根本から変革。



フィジカルAI

画像認識と機械学習を融合し、微細な欠陥を24時間自動検出。BMWは2026年夏に人型ロボットのパイロット運用を開始予定。



Drawing Agent

2D図面から即座に3D CADモデルを自動生成。過去の図面資産をデジタルツインとして活用し、顧客とのリアルタイム共創を実現。



エッジAI（オンデバイスLLM）

機密設計データを外部に出さず工場内で高速AI推論。2026年のAIコンピュータの約3分の2が「推論」用途になると予測。

ロールモデル分析①: Kartell — アルゴリズムによるデザインのルールチェンジ

ビジネスの現状

2017年から生成AIを活用した家具づくりに着手し、2019年に世界初のAIデザイン家具「A.I.」を発表。椅子・スツール・コンソールテーブルヘラインナップを拡大中。

デジタル前提の変革ポイント

- **顧客価値創造:** 射出成型×AIで「つながり目のない曲線」を実現。アナログ製造では到達不可能な次元の価値を提供。
- **業界ルールの破壊:** 一つの金型から複数サイズを生成できる汎用設計をAIが導出。「サイズごとに高額な金型」という業界常識を打破。
- **サステナビリティ:** 素材・エネルギーを最小化する制約をAIに与え、コスト効率と環境負荷低減を両立。

核心的インサイト

AIを「ツール」ではなく「デザインの本質」と捉え、製造コストと投資効率の構造を根本から変えた。これは単なる効率化ではなく、業界のルールチェンジそのものである。



ロールモデル分析②③： アダル × セガ フェイブ

株式会社アダル — プラットフォームによる顧客接点のデジタル化

家具提案支援プラットフォーム「カグボン」に生成AIを統合。3Dデータ生成・自動見積もり・テレビ会議を一体化し、施工・設計業者向けに提供。顧客が自らデザインの素案を作成する「共創の場」を実現。蓄積データがAIの提案精度を高め、ユーザーが集まるネットワーク効果を狙うノンリニアな成長モデル。

セガ フェイブ — ツインターボ型顧客体験の変革

「ドリームスイッチ」の企画に画像生成AIを導入し、デザイン案を**100倍**に増強。VOC分析をAI自動化し集計業務の**80%**を削減（ターボ1：高速・高頻度）。「寝かしつけ」という親の課題を解決するコンテンツが口コミを呼び、データが集まるノンリニアな成長を誘発（ターボ2：自己増幅）。モノからコト、さらに「共感価値」へと顧客価値をシフト。

将来予測：リソース・プロセス・ビジネスモデルの変革



🔧 リソース置換（2026～）

Drawing Agent×CAD/PLMの連携で、テキスト仕様入力から製造可能な3DモデルとBOMが数分で出力。熟練工の暗黙知をフィジカルAIがクローン化し、技術継承問題を強制解決。

🏭 自律型工場（2027～）

AIエージェントが工場全体のデジタルツインをリアルタイム最適化。センサー予兆保全が標準化されダウンタイムはほぼゼロに。人間は緊急時の「承認」のみを担う。

🤖 無選択型意思決定（2028～）

顧客所有のAIエージェントが最適製品を自動選択する時代が到来。事業者は広告・営業ではなく、AIエージェントに「採用される」高精度なコアとAPIの提供が唯一の生存戦略となる。

戦略的提言：5つのアクション

01

「ツインターボ」経営エンジンへの換装

開発サイクルを従来の10分の1に設定し、AIで100倍の試作案を出し続けるプロセスを構築。ノンリニアな成長モデルを実装せよ。

02

「コンテンツ販売」から「コア提供」へ転換

独自技術・デザイン思想・ブランド信頼性を「コア（半完成品・知見）」としてデジタル化。顧客AIエージェントがアクセスできるAPIを準備せよ。

03

自ら「場（エコシステム）」を創りルールをチェンジ

アダルの「カグボン」のように、業界プレーヤーと顧客が価値を共創するプラットフォームを運営。ネットワーク効果で参入障壁を築け。

04

AIエージェントと共生する「自律型組織」へ再編

熟練工の暗黙知をAIに学習させ、フィジカルAIを現場の主力に。作業員を「ロボットの監視者・承認者」へリスキリングせよ。

05

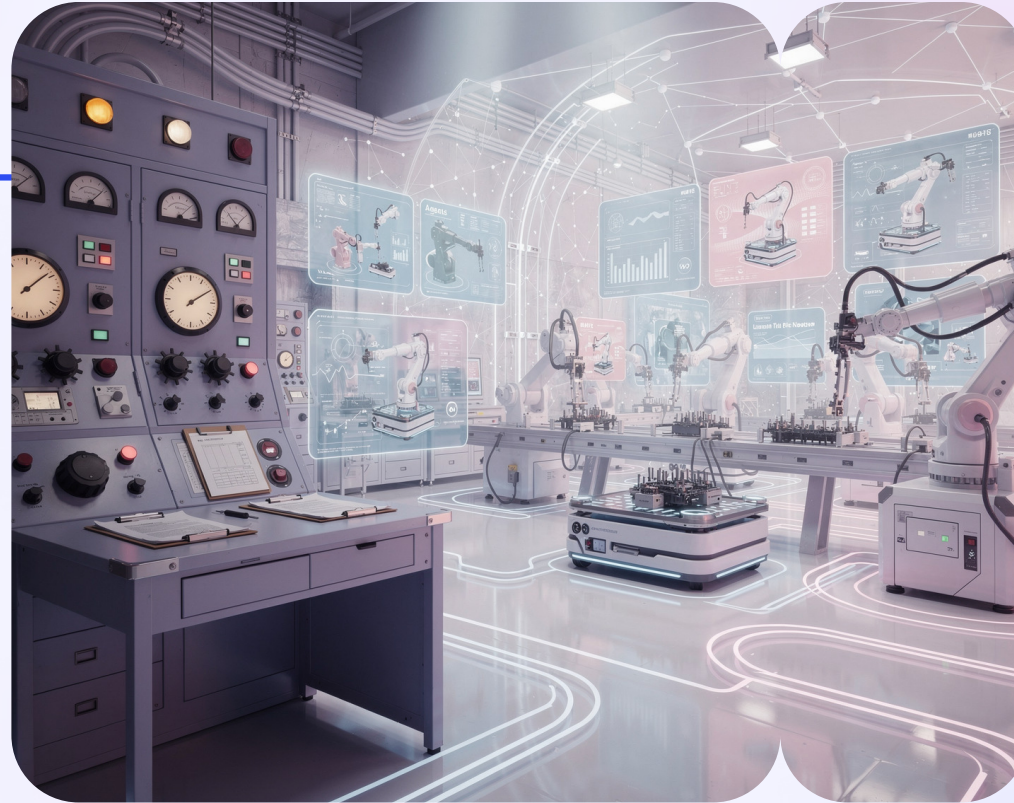
「共感価値」と「体験価値」を最大化するブランド管理

機能価値がコモディティ化する中、顧客の行動をポジティブに変える「体験価値」と「共感価値」を最優先KPIに据えよ。

変革の全体像：「自然吸気」から「ツインターボ」へ

自然吸気型経営

アナログ前提、リニア成長、熟練者依存



ツインターボ型経営

デジタル前提、ノンリニア成長、AI×フィジカル

本レポートが提示した変革は、もはや「選択肢」ではなく、**2026年以降の製造業における「生存条件」**です。経営層は自らが「デジタルを前提」としたルールチェンジャーとなり、新たなブルーオーシャンを切り拓く勇気を持つべきです。

100倍

デザイン案の増強

セガ フェイブが生成AIで実現したデザイン案の増加倍率

80%

業務効率化

AIによるVOCアンケート集計業務の削減率

1,500社

導入実績

デジタルステージングAI「Image to Image」の導入社数

お問い合わせ・引用文献

株式会社DXパートナーズ（DXP）

本レポートに関するご質問・お問い合わせは、下記よりお気軽にご連絡ください。

[お問い合わせはこちら](#)

※本レポートの情報はインターネットから自動収集したものであり、一部に不正確な情報を含む場合があります。

主要引用文献

1. Kartell A.I.シリーズ – T JAPAN
2. アダル「カグボン」生成AI統合 – newscast.jp
3. セガ フェイブ 生成AI活用 – sakumaga.sakura.ad.jp
4. 生成AI業界最新動向2026年3月 – note
5. AI主要ニュース総まとめ2026年4月 – amiko.consulting
6. 製造業AI生産性向上戦略2026 – emuniinc.jp
7. AI×製造業の未来2026 – renue.co.jp
8. ツインターボ顧客価値創造エンジン – DXP内部資料
9. 日本デジタル印刷市場規模 – atpress.ne.jp
10. デジタルステージングAI – prt看mes.jp